

The Symphony Hall

・ プラチナコンサート ・

世界の巨匠とともに 2023

Sinfonia

シンフォニア

Bruce Liu

【ピアノ】ブルース・リウ

©Yanzhang

Pablo Ferrández

【チェロ】パブロ・フェランダース

©IGOR STUDIO

Close Up

世界の巨匠とともに2023
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

The Symphony Hall 年末スペシャルコンサート

The Symphony Hall Super Brass×THE SOULMATICS ゴスペル

ジルベスターコンサート2023・ニューイヤーコンサート2024

ほか

Kyohiei Sorita

【ピアノ】反田恭平

©Yuji Ueno

Supported by MUFG

第4弾

夏休み

関西フィル 第9回親子定期演奏会

自由研究

は、これで決まり!!

音楽と物語

研究ポイントをおさえて
とおきの自由研究を完成させましょう!

来場者全員に

自由研究にそのまま使える アンコールに
**研究シートとアニメの曲を
プレゼント!**

※画像は昨年ものになります

2023.8/6(日) 2:00PM
ザ・シンフォニーホール

全席指定 4,000 円 (税込)

【指揮】藤岡幸夫 【司会・語り】空井仁美
【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

発売中

PROGRAM

オフエンバック: 喜歌劇「天国と地獄」序曲 より “カンカン”
モーツァルト: ディヴェルティメント K.136 より 第1楽章
チャイコフスキー: バレエ音楽「白鳥の湖」組曲 より “四羽の白鳥の踊り”
カバレフスキー: 組曲「道化師」より “ギャロップ”
シベリウス: 交響詩「フィンランディア」
ロッシーニ: 歌劇「ウィリアム・テル」序曲
メンデルスゾーン: 劇付随音楽「真夏の夜の夢」より
～序曲・スケルツォ・間奏曲・夜想曲・結婚行進曲～

*4歳以上のお子様からご入場いただけます。

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール/公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団
【協賛】三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券

「ご家族で一緒に、本格的なコンサートホールの空間をふるわせる、生のオーケストラ・サウンドを体感してほしい」そんな思いからこのコンサートは生まれ、今年で第9回を迎えました。「子どもコンサート」と聞くと、「じっくりと音楽鑑賞ができないのでは?」「気軽に足を運べるけど、話し声が気になったり...。」というイメージが浮かぶ方も多いため、今回お届けするのは、大人も満足する本格的なプログラムを、

静けさのなかで体感するという新しい形のコンサートです。メインは劇付随音楽「真夏の夜の夢」を語り付きで演奏! 音楽と物語がセットになったこの楽曲で、より学びを深めていただきます。たくさんの方たちと一緒に音楽を聴く習慣とマナーを身に付けていただき、クラシック音楽の感動に出会うきっかけになる。そんな特別な時間が、みんなを待っています!

**プレゼント付き!!
自由研究のお悩みを解決!**



シンフォニア

www.symphonyhall.jp

contents

Vol.58

2023.7-2023.9

2023.7.10 発行

- 2 TheSymphonyHallブラチナコンサート 世界の巨匠とともに2023
ブラチナセット券情報
- 4 世界の巨匠とともに2023 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
- 6 世界の巨匠とともに2023 チュリッヒ・トーンハレ管弦楽団
- 7 世界の巨匠とともに2023 NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団
- 8 Best of Orchestra 2023 若き巨匠の新世界
- 10 ジルベスターコンサート2023・ニューイヤークンサート2024
- 12 オールスター 紅白オペラ歌合戦 2023
- 14 The Symphony Hall 年末スペシャルコンサート
The Symphony Hall Super Brass×THE SOULMATICS ゴスペル
- 15 Osaka Shion Wind Orchestra 第150 回定期演奏会
- 16 前橋汀子 ヴァイオリン・スペシャル・コンサート
- 17 仲道郁代ショパンを弾く〜円熟と哀しみ〜
- 18 クラシック・キャラバン2023 華麗なるガラ・コンサート
- 19 The Symphony Hall Big Band vol.21 -ダンスリズム-
- 20 美しき日本のうた2023
古澤 巖×ベルリン・フィルハーモニック ストリングス〜愛のクリスマス2023〜
- 21 ライト・シンフォニックコンサート〜大人の贅沢〜
オールパツハム曲選! 真夏のオルガンコンサート2023
- 22 江陵市交響楽団 2023年日本公演
上原光子 ピアノ・リサイタル《オール・ラフマニノフ・プログラム》
- 23 小味渕彦之「こみちゃんの温故知シン」vol.4
- 24 関西4オケ Pick Up コンサート
- 26 ABCテレビ主催公演:イベント情報
- 30 日本センチュリー交響楽団
- 32 東京大学音楽部管弦楽団 サマーコンサート2023 関西公演
パナソニック合唱団 第46回定期演奏会 ~ 千原英喜 展展 ~
- 33 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.58
- 34 ホールトピックス
Concert Calendar 2023.7~2023.9

7月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する7月20日(木)~7月26日(水)の期間は「お電話」と「窓口」の営業を10:00~18:00とさせていただきます。この期間以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00~16:00となります。※火曜定休

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話: ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。

●WEB: <https://www.symphonyhall.jp/>

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ
<https://www.symphonyhall.jp/> からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)

【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3

ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯電話のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。「@symphonyhall.jp」をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報の利用は、個人情報に関する法令、規程に準拠して行います。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的にのみ使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事のご案内する印刷物の発送 (3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発、改善を目的とした調査、研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡 (6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報の安全に管理されるよう適切に監督します。

●表紙「The Symphony Hall ブラチナコンサート 世界の巨匠とともに2023」

ザ・シンフォニーホール子供鑑賞体験支援事業

18歳以下限定
子供無料招待席のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響下において、劇場・音楽堂等で子供たちが文化芸術の鑑賞や体験をする機会が多く失われている状況に鑑み、劇場・音楽堂等で行われる子供たちの実演芸術の鑑賞・体験等を提供する取組を文化庁支援のもと行うことが決定いたしました。

ザ・シンフォニーホールでは下記の公演で子供無料席を設け、18歳以下の皆様を公演にご招待いたします。下記の要領をよくご確認いただき、奮ってご応募ください。

対象公演

2023.10/21 (土) 3:00PM

チュリッヒ・トーンハレ管弦楽団 大阪公演

【対象】中学生以上 18歳以下 【定員】363名

【応募期間】5/28(日) 12:00~9/30(土) 16:00まで

2023.11/3(金・祝) 3:00PM

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

【対象】中学生以上 18歳以下 【定員】363名

【応募期間】5/28(日) 12:00~9/30(土) 16:00まで

2023.12/31 (日) 5:00PM

ジルベスターコンサート2023

【対象】小学生以上 18歳以下 【定員】314名

【応募期間】7/23(日) 12:00~11/30(木) 16:00まで

2024.1/1 (月・祝) 3:00PM

ニューイヤークンサート2024

【対象】小学生以上 18歳以下 【定員】314名

【応募期間】7/23(日) 12:00~11/30(木) 16:00まで

対象者

公演当日、対象年齢以上18歳以下(公演によって異なりますので、ご注意ください)

お申込み方法

★公式ホームページ(<https://www.symphonyhall.jp/>)の子供無料招待席専用ページよりお申込み下さい。

★ご予約は先着順で受け付け、応募多数の場合、抽選となります。各公演の定員に達し次第、終了とさせていただきます。当ホールよりメールにてご来場可否のご連絡をさせていただきます。公演当日の詳細につきましても、メールに記載させていただきます。

★お申込みが定員に満たない場合は、二次募集を行います。

★ご応募は1公演につき、お一人様1回(4枚まで)でお願いいたします。

★必ず氏名・年齢が確認できる身分証明書(学生証・マイナンバーカード・保険証など)の添付をお願いいたします。

★同伴者が19歳以上の場合別途チケットをご購入いただく必要があります。ご購入については当日現金にてお支払いのみとなります。ご注意ください。

★子供無料招待席と一般販売席はエリアが異なります。同伴者の方と隣席購入ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

★学校・団体での申込も受付しております。

直接事務局(kodomo@symphonyhall.jp)にお問い合わせください。応募多数の場合はご希望に沿えない場合がございますので、予めご了承ください。

★公演終了後、子供無料席で公演を鑑賞された方を対象に文化庁のアンケートにご協力いただくことを予定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

★本アンケート実施のため、子供文化芸術活動支援事業(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)事務局にメールアドレスのみを提供いたしますので、ご了承の上お申し込みください。



文化庁 子供文化芸術活動支援事業
(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)

Vol.1 チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 大阪公演

2023.10/21(土) 3:00PM開演

[指揮] パーヴォ・ヤルヴィ

[ピアノ] ブルース・リウ

[管弦楽] チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円 (全席指定 税込)

PROGRAM

ベートーヴェン:「献堂式」序曲 op.124

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18

ブラームス: 交響曲 第1番 ハ短調 op.68

Vol.2 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

2023.11/3(金・祝) 3:00PM開演

[指揮] セミヨン・ビシュコフ

[チェロ] パブロ・フェランデス

[管弦楽] チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円 (全席指定 税込)

PROGRAM

ドヴォルザーク:「オテロ」序曲 op.93

ドヴォルザーク: チェロ協奏曲 ロ短調 op.104

ドヴォルザーク: 交響曲 第8番 ト長調 op.88

Vol.3 大和証券グループ Presents NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

2023.11/22(水) 7:00PM開演

[指揮] アラン・ギルバート

[ピアノ] 反田恭平

[管弦楽] NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団

S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円 (全席指定 税込)

PROGRAM

ブラームス: ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調 op.15

ブラームス: 交響曲 第2番 ニ長調 op.73

残席
わずか!!

3公演すべて同じお座席で
お楽しみいただけるプラチナセット券を
ご用意しました。

プラチナセット券 75,000円 (全席指定 税込)

●プラチナセット券は、ザ・シンフォニー チケットセンターでのみお取り扱いします。
他のプレイガイドでの販売はございません。

プラチナセット券について
のご案内はこちらから



The Symphony Hall プラチナコンサート 世界の巨匠とともに 2023

パーヴォ・ヤルヴィ&チューリッヒ・トーンハレ管、ビシュコフ&チェコ・フィル、ギルバート&NDRエルプフィル、この5年以内に組まれたまさに
今が旬のコンビ(パーヴォ&トーンハレ管は日本初登場)の豪華な競演! 伝統あるオーケストラが新たなシェフを得て、これまで聴けなかった
ような演奏を体感させてくれるに違いない。また、ソリストとして、2021年のショパン・コンクールの第1位ブルース・リウと第2位反田恭平が
登場するのうれしい。

山田治生





チェロ パブロ・フェランデス
Pablo Ferrández

©KRISTIAN SCHULLER

ビシュコフが名門チェコ・フィルと奏でる オール・ドヴォルザーク・プログラム

セミヨン・ビシュコフが名門
チェコ・フィルハーモニー管弦楽
団とともにオール・ドヴォルザーク・プログラムを披露する。パリ
管弦楽団、ケルン放送交響楽団、ド
レスデン国立歌劇場など世界的な
オーケストラの首席指揮者や音楽
監督を歴任したビシュコフは、
2018年にチェコ・フィルの首
席指揮者に就任。ビシュコフ &
チェコ・フィルは、チャイコフス
キー・プロジェクトに取り組み、彼
の交響曲全曲、ピアノ協奏曲全曲
を録音し、コンビとしての相性の

良さを示した。

今回の演奏会は、ドヴォルザークの「オテロ」序曲で始まるが、この作品こそ、1896年のチェコ・フィルの第1回演奏会でドヴォルザーク自身の指揮で演奏されたものであった。まさにチェコ・フィルの原点ともいえる1曲である。「オテロ」序曲は、ドヴォルザークの演奏会用序曲三部作「自然と人生と愛」の一つであり、シェイクスピアの戯曲「オセロ」からインスピレーションを受けた劇的な音楽だ。続いて、今、ヨーロッパで最も注

目されている若手チェロ奏者の一人、パブロ・フェランデス(1991年生まれ)がチェロ協奏曲の独奏を務める。スペインのマドリッド出身の彼は、ドイツのクロンベルク・アカデミーで学んだ。アンネ・ゾフィー・ムターにその実力を高く評価され、彼女がマンフレート・ホーネック & チェコ・フィルと録音したブラームスの「ヴァイオリンとチェロの二重協奏曲」のチェロ独奏に抜擢されるなど、大活躍である。ドヴォルザークのチェロ協奏曲はいまでもなく、世界で最も演奏されているチェロ協奏曲であり、名曲中の名曲。名旋律満載のこの協奏曲は、40分を超える大作でもある。気鋭のチェロ奏者フェランデスの真価を知るには最

適の曲といえるだろう。

そして最後は交響曲第8番。ドヴォルザークが祖国で書いた最後のシンフォニーであり、ボヘミア色の濃い魅力的な作品である。また、第1楽章の冒頭のチェロの旋律から、第3楽章でヴァイオリンが歌うスラヴ舞曲風のメロディ、そして第4楽章のチェロが提示するおらかな主題まで、ドヴォルザークのメロディー・メイカーとしての才能がこの上なく発揮されている。情熱あふれるカリスマ的な指揮で知られ、70歳を越えて円熟味を増す巨匠ビシュコフが伝統あるチェコ・フィルとともにどんなドヴォルザークの交響曲第8番を聴かせるくれるのか、本当に楽しみだ。

オーケストラにとっては、切っても切れない作品というものがある。ウィーン・フィルにとってのヨハン・シュトラウス一家の音楽、ドレスデン・シュターツカペレにとってのリヒャルト・シュトラウスのオペラ、サンクトペテルブルク・フィルにとってのシヨスタコーヴィチの交響曲、イスラエル・フィルにとってのマーラーの交響曲など、そして、チェコ・フィルにとってのドヴォルザークの作品。まさに血となり肉となっている音楽であり、チェコ・フィルは、他のオーケストラの追従を許さないドヴォルザーク演奏を聴かせてくれるに違いない。

(文 山田治生)

[指揮]セミヨン・ビシュコフ [チェロ]パブロ・フェランデス
[管弦楽]チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

《オール・ドヴォルザーク・プログラム》

「オテロ」序曲 op.93
チェロ協奏曲 口短調 op.104
交響曲 第8番 ト長調 op.88

2023.11/3(金・祝) 3:00PM
S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円(税込)

※「世界の巨匠とともに」3公演プラチナセット券75,000円の詳細はP2をご参照ください。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



©Petr Chodura



©Petra Chodura

Semyon
Bychkov

指揮 セミヨン・ビシュコフ

大和証券グループ Presents

NDR エルプフィルハーモニー管弦楽団 Elbphilharmonie Orchester

アラン・ギルバート、反田恭平、
NDRエルプフィルによるブラームスの夕べ



©Michael Zapf

Kyohpei Sorita

ピアノ 反田恭平

©Yuji Ueno

反田恭平、本場ハンブルクのオーケストラとブラームスを共演
今秋、NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団が大阪にやって来る。2017年に北ドイツ放送交響楽団がエルプフィルハーモニー・ハンブルクに拠点を置いたのを機に、名称を変更した。歴史あるこのオーケストラを指揮するのは、同楽団の首席指揮者アラン・ギルバート。彼は、音楽監督を務めていたニューヨーク・フィルとザ・シンフォニーホールに2014年に登場し、小曽根真と共演。大きな反響を呼んだ。プログラムは、NDRエルプフィルの本拠地、ハンブルク出身のブラームスが作曲した「ピアノ協奏曲第1番」と「交響曲第2番」。

ピアノ独奏は、反田恭平。シヨパン国際ピアノ・コンクールで内田光子以来、51年ぶりとなる第2位を受賞。彼が大きく注目されたのは、高校3年生で出場した日本音楽コンクールだ。作品に対する思いを自在に描き出し、その熱いパッションあふれる演奏は多くの聴衆を魅了した。
反田は、安定した演奏技巧を
紳士は同団OBのヴァイオリン奏者。我々には独自の音色がある」と誇らしげに語っていたのが印象的だった。数々の名門オーケストラがひしめく欧州にあって、個性ある響きを体現する団体のひとつなので、パーヴォ・ヤルヴィとともに来日する公演は本当に期待が高まる。

(文) 道下京子

【指揮】アラン・ギルバート 【ピアノ】反田恭平
【管弦楽】NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団

《オール・ブラームス・プログラム》

ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15
交響曲 第2番 二長調 op.73

2023.11/22(水) 7:00PM

S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円(税込)

※「世界の巨匠とともに」3公演プラチナセット券75,000円の詳細はP2をご参照ください。

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



©Chris Lee

指揮 アラン・ギルバート

Alan Gilbert

Tonhalle チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 Orchester Zürich

パーヴォが名門トーンハレ管と来日！！



©Gaetan Bally

Paavo Järvi

指揮 パーヴォ・ヤルヴィ

©Gaetan Bally

名指揮者シヨパンコンクールの覇者で、スウェーデンの名門管弦楽団エストニア出身の世界的指揮者パーヴォ・ヤルヴィ。NHK交響楽団の首席指揮者として4シーズン目を迎え、日本の音楽ファンにもよく知られた名匠だ。指揮者ネーメ・ヤルヴィを父にもつ音楽一家に生まれたパーヴォは、地元で指揮、打楽器を学び、その後バーンスタインに師事。頭角を現していく。自国の民族文化も大切に、その指揮はモダンで鮮やかな色彩、躍動するリズム感などが特徴で、古典から現代作品まで、卓抜とした手腕で聞かせてくれる。

そんなパーヴォ・ヤルヴィが2019年から首席指揮者を務めるのが、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団である。風光明媚なチューリッヒ湖畔にたたずむ美しいトーンハレ(ホール)を本拠に長い歴史を誇り、かのブラームスも自作を指揮した名門である。もう20年くらい前だがトーンハレで同管弦楽団の演奏を聞いた際、ロビーでたまたま話をした老紳士は同団OBのヴァイオリン奏者。我々には独自の音色がある」と誇らしげに語っていたのが印象的だった。数々の名門オーケストラがひしめく欧州にあって、個性ある響きを体現する団体のひとつなので、パーヴォ・ヤルヴィとともに来日する公演は本当に期待が高まる。

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 大阪公演

【指揮】パーヴォ・ヤルヴィ 【ピアノ】ブルース・リウ

【管弦楽】チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

ベートーヴェン：「献堂式」序曲 op.124

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 八短調 op.18

ブラームス：交響曲 第1番 八短調 op.68

2023.10/21(土) 3:00PM

S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円(税込)

※「世界の巨匠とともに」3公演プラチナセット券75,000円の詳細はP2をご参照ください。

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



©Yanzhang

ピアノ ブルース・リウ

Bruce Liu



「ヴァイオリン」郷古 廉
 継をしっかりと
 くださるので、自
 の目指す音楽へ近
 づけるような気持
 ちになります。

「ヴァイオリン」郷古 廉
 佐藤 最初は去年9月、宮城でメン
 デルスゾーンのピアノトリオ 第1
 番を演奏しました（ピアノは仲道都
 代さん）。リハーサルでは郷古君の
 一言一言で音楽が変わっていくの
 が新鮮で楽しかった。音楽に対して
 の正直なアプローチを感じました。
 郷古 ありがとう。今年の春も室内
 楽と一緒にやりましたね。佐藤君
 は冷静だけど熱いものを持ってい
 て音楽に対する姿勢に共感してい
 ます。コンチェルトと一緒に弾く
 のは初めてだね。
 — ブラームスの《ヴァイオリン
 とチェロのための二重協奏曲》で
 すね。
 郷古 チェロは長大なカデンツァ
 から始まる。かつこいいよね。
 佐藤 あれは命削りながら弾いて
 る（笑）。チェリストからすると音
 域も幅広く使われているし、内側
 からわき上がる心情とか共感でき

「チェロ」佐藤晴真
 る部分が多い作品です。
 郷古 僕は今回、コンチェルトの華
 やかさは保ちつつ、作品内部の緻
 密なところをみんなで見えて室内
 内楽的なアプローチができたらと
 考えています。飯森範親さんとは
 ドイツの古典、ロマン派の作品を
 何度も演奏してきたので、少し掘
 り下げた話をしたいな。
 佐藤 全体の理想像を共有しながら、
 どう緻密に組み立
 てていくかだね。
 飯森さんはソリス
 トとオーケストラ
 の音楽的会話の中
 継をしっかりと



「チェロ」佐藤晴真
 る部分が多い作品です。
 郷古 僕は今回、コンチェルトの華
 やかさは保ちつつ、作品内部の緻
 密なところをみんなで見えて室内
 内楽的なアプローチができたらと
 考えています。飯森範親さんとは
 ドイツの古典、ロマン派の作品を
 何度も演奏してきたので、少し掘
 り下げた話をしたいな。
 佐藤 全体の理想像を共有しながら、
 どう緻密に組み立
 てていくかだね。
 飯森さんはソリス
 トとオーケストラ
 の音楽的会話の中
 継をしっかりと

「ヴァイオリン」郷古 廉
 継をしっかりと
 くださるので、自
 の目指す音楽へ近
 づけるような気持
 ちになります。

「チェロ」佐藤晴真
 る部分が多い作品です。
 郷古 僕は今回、コンチェルトの華
 やかさは保ちつつ、作品内部の緻
 密なところをみんなで見えて室内
 内楽的なアプローチができたらと
 考えています。飯森範親さんとは
 ドイツの古典、ロマン派の作品を
 何度も演奏してきたので、少し掘
 り下げた話をしたいな。
 佐藤 全体の理想像を共有しながら、
 どう緻密に組み立
 てていくかだね。
 飯森さんはソリス
 トとオーケストラ
 の音楽的会話の中
 継をしっかりと

「チェロ」佐藤晴真
 る部分が多い作品です。
 郷古 僕は今回、コンチェルトの華
 やかさは保ちつつ、作品内部の緻
 密なところをみんなで見えて室内
 内楽的なアプローチができたらと
 考えています。飯森範親さんとは
 ドイツの古典、ロマン派の作品を
 何度も演奏してきたので、少し掘
 り下げた話をしたいな。
 佐藤 全体の理想像を共有しながら、
 どう緻密に組み立
 てていくかだね。
 飯森さんはソリス
 トとオーケストラ
 の音楽的会話の中
 継をしっかりと



「ヴァイオリン」郷古 廉
 継をしっかりと
 くださるので、自
 の目指す音楽へ近
 づけるような気持
 ちになります。

「チェロ」佐藤晴真
 る部分が多い作品です。
 郷古 僕は今回、コンチェルトの華
 やかさは保ちつつ、作品内部の緻
 密なところをみんなで見えて室内
 内楽的なアプローチができたらと
 考えています。飯森範親さんとは
 ドイツの古典、ロマン派の作品を
 何度も演奏してきたので、少し掘
 り下げた話をしたいな。
 佐藤 全体の理想像を共有しながら、
 どう緻密に組み立
 てていくかだね。
 飯森さんはソリス
 トとオーケストラ
 の音楽的会話の中
 継をしっかりと

【指揮】飯森範親 【ヴァイオリン】郷古 廉 【チェロ】佐藤晴真
 【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

ドヴォルザーク：「謝肉祭」序曲 op.92
 ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102
 ドヴォルザーク：交響曲 第9番 水短調 op.95「新世界より」

2023.10/29 (日) 2:00PM

S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

発売中

Japan Century Symphony Orchestra × The Symphony Hall

協奏曲に加え、郷古コンマス&
 佐藤チェロトップが実現する夢の公演

NHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターの郷古 廉と
 ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門優勝の佐藤晴真。
 互いを認め合う2人が協奏曲と交響曲に挑戦する。

Sunao Goko

ヴァイオリン

郷古 廉 × チェロ 佐藤晴真

Harumasa Satoh

撮影：鈴木久美子

4年ぶりの 来日!

苦境を乗り越え、世界に癒しを届ける ウクライナ(旧キエフ) 国立フィルハーモニー交響楽団

ソプラノ
テチアナ・ガニーナアルト
アンジェリーナ・シュヴァツカテノール
ドミトロ・クズミンバリトン
セルギイ・マゲラ指揮
ミコラ・ジャジュラ

新春の鏡開き!



彩り溢れるロビー!

祝い酒をご用意!

年末の聴き納めと、年始の聴き初めはザ・シンフォニーホールで! 年末の聴き納めと、新年の聴き初めは、ぜひともザ・シンフォニーホールで。大晦日のジルベスターと新年のニューイヤーの2公演が、今年も盛大に開催される! 西洋と同じように、関西でも年末年始に音楽の宴をという想いから生まれたが、毎年大盛況は関西の風物詩として定着した証と言えるだろう。今回の出演は、ウクライナ国立フィル。1995年にキエフ国立フィルとして創設されたが、近年は現在の名称に変更。また、96年からは今回の指揮者で実力派のミコラ・ジャジュラが音楽監督に就任し、近年は東欧の最も優れた楽団の一つに成長し、平和を願う大使として世界各地で公演を行っている。彼らは、2019・2020年のカウントダウン・ニューイヤー

に初出演。持ち前の素晴らしいサウンドをご記憶の方もいらっしゃる。ソリストには、テチアナ・ガニーナ(ソプラノ)、アンジェリーナ・シュヴァツカ(アルト)、ドミトロ・クズミン(テノール)、セルギイ・マゲラ(バリトン)ら、ウクライナが誇る名歌手が、オペラアリアの名曲や「春の声」など華やかな歌声を届ける。ウィーン・フィルのニューイヤーズながらの優雅なひとときを心ゆくまで堪能したい。そして今年も、ロビーに花や樽酒を設置した正月仕様でお客様をお出迎え。舞台上では鏡割りや、来場のお客様には振る舞い酒もご用意。ウクライナの平和を祈りながら、そちらもぜひお楽しみに。ジルベスターで聴き納めか、初詣で帰りにニューイヤーで聴き初めか、じっくりと悩んだ上で存分に楽しもう!! (文 渡辺謙太郎)

ザ・シンフォニーホール ジルベスターコンサート2023

[指揮]ミコラ・ジャジュラ [ソプラノ]テチアナ・ガニーナ
[アルト]アンジェリーナ・シュヴァツカ [テノール]ドミトロ・クズミン
[バリトン]セルギイ・マゲラ
[管弦楽]ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲 / ビゼー: 歌劇「カルメン」より
ヴェルディ: 歌劇「椿姫」より乾杯の歌 / ドヴォルザーク: 交響曲 第9番「新世界より」第4楽章
J. シュトラウス一世: ラデツキー行進曲 ほか

2023.12.31(日) 5:00PM

S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 7/20(木) 一般発売: 7/23(日)

ザ・シンフォニーホール ニューイヤーコンサート2024

[指揮]ミコラ・ジャジュラ [ソプラノ]テチアナ・ガニーナ
[アルト]アンジェリーナ・シュヴァツカ [テノール]ドミトロ・クズミン
[バリトン]セルギイ・マゲラ
[管弦楽]ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

J. シュトラウス二世: 美しく青きドナウ、春の声
J. シュトラウス一世: ラデツキー行進曲 / ヴェルディ: 歌劇「椿姫」より乾杯の歌
ドヴォルザーク: 交響曲 第9番「新世界より」第4楽章 ほか

2024.1.1(月) 3:00PM

S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 7/20(木) 一般発売: 7/23(日)

The Symphony Hall

ジルベスターコンサート 2023.12.31

ニューイヤーコンサート 2024.1.1



指揮 ミコラ・ジャジュラ

令和5年 年越しスペシャル!!
日本の日の出を願う

オールスター 紅白 オペラ歌合戦 2023



管弦楽 大阪交響楽団

関西の様々な歌手が出演する「オールスター 紅白オペラ歌合戦」を今年もぜひ、たくさんの方々に楽しみたいと思います。出演する歌手たちは紅組・白組に分かれますがこれまでの公演とは違い、男女混合のステージや合唱も予定しています。この新たな構成によって、音楽の可能性をより広げていこうとするのが今回の歌合戦の大きな特徴となっています。

紅組キャプテン 斉藤言子さんのコメント

気鋭の歌手たちが一致団結して関西の音楽界を盛り上げ、未来に向けて素晴らしい歌の心を継承してゆく、そんな熱い意気込みを皆様にお伝えできれば幸いです。

演目は軽やかなオペレッタやミュージカル、そしてヴェルディやプッチーニの名オペラ・アリアに重唱も織り交ぜました。歌手一人ひとりの個性豊かな歌声が響き合う年末ならではの豪華なステージを、たっぷりとお楽しみください。まさに生きるエネルギーをチャージできるようなパワー溢れるコンサートです。どうぞ今年の新しく進化した「オールスター 紅白オペラ歌合戦」をご期待ください。

紅組キャプテン 斉藤言子



白組キャプテン 田中勉

ザ・シンフォニーホール歳末恒例! 関西のスター歌手、夢の歌合戦!!

関西ゆかりのスター歌手たちが一堂に会す「オールスター 紅白オペラ歌合戦」が今年も開催決定! 6回目となる今回は、男女混合による多彩なステージもあり、例年以上の変化を遂げます。もちろん「紅・白」の勝負を決めるのは、これまで通り審査員と聴衆の皆様のごジャッジです。年末に相応しいこのスペシャルな歌声の饗宴について、白組キャプテン・田中勉さんと紅組キャプテン・斉藤言子さんに、今年の聴きどころや意気込みなどを語っていただきました。

2018年に始まって以来、たくさんの方々に好評をいただいていた歌とオーケストラによる「オールスター 紅白オペラ歌合戦」ですが、今年は初めて合唱が入ることになりました(マスカニニ作曲のオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「教会の合唱」などを予定)。この合唱が入ることによって醸し出される、臨場感あふれるオペラの名場面の雰囲気というものを、きつと存分に楽しんでいただけることと思います。また、演目では、一昨年はオペラ・ア

白組キャプテン 田中勉さんのコメント

リアに加え、オーケストラ伴奏による歌曲(シューベルト作曲「リスト編曲の魔王」)を取り上げ、昨年はミュージカルのナンバー(リチャード・ロジャーズ作曲の「サウンド・オブ・ミュージック」より「すべての山に登れ」などを組み入れたりと、年々バラエティー豊かに進化するプログラム作りを行ってきました。そして今年、多彩な重唱が多く組まれる予定で、そこにも注目していただければと思います。

渾身の独唱と心揺さぶる重唱、そして壮大な合唱が彩る晴れやかな年越しの舞台。ぜひ心ゆくまでお楽しみください。

【出演】「紅組」 斉藤言子、木澤佐江子、四方典子、田中友輝子、並河寿美、野口真湖、堀口莉絵、松浦優
「白組」 田中 勉、秋本靖仁、大谷圭介、小餅谷哲男、萩原寛明、晴 雅彦、松澤政也、水口健次
【指揮】 栗辻 聡 【管弦楽】 大阪交響楽団 【合唱】 大阪響コーラス 他

レハール:「メリー・ウィドウ」～ダニロ登場の歌、「微笑みの国」～君こそ我が心のすべて
J.シュトラウス:「こもり」～序曲、チャルダッシュ/カールマン:「チャルダッシュの女王」～ハイア、ハイア、山こそ我が故郷/ヴェルディ:「リゴレット」～四重唱/マスカニニ:「カヴァレリア・ルスティカーナ」～教会の合唱/ビゼー:「カルメン」～ハバネラ、闘牛士の歌、手紙の二重唱/ヴェルディ:「運命の力」～神よ、平和を与えたまえ/コルンゴルト:「死の都」～ピエロの歌/シャルパンティエ:「ルイズ」～その日から/レオンカヴァッロ:「道化師」～プロローグ

2023.12/26(火) 6:30PM

S 8,800円 A 7,700円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 【主催】ザ・シンフォニーホール

【先行予約】7/20(木) 一般発売: 7/23(日)



今年は紅か白か?
勝負を決めるのは
お客様!!

過去の紅白勝負

2018年.....	紅	2021年.....	白
2019年.....	白	2022年.....	白
2020年.....	紅		



第150回定期演奏会



指揮 ポール・ポビエル

**日本初演と世界初演、
歴史に残る2曲でフィナーレを迎える
バーンズ・チクルス**

2023年6月1日に創立100周年を迎えたオオサカシオン・ウィンド・オーケストラ。100周年特別企画の目玉であるジェイムズ・バーンズ・交響曲全曲演奏、チクルスは9月16日(土)特別演奏会バーンズ・チクルスVol.1に始まり、今回で一連のシリーズの締めくくりとなります。

先人たちの時代から、作曲家にとって交響曲を作曲することは一つの目標であり、今なお作曲家にとっては数ある作品の中でも重要な位置を占めます。今回、Shionが100周年の特別演奏会を企画す

るにあたり、吹奏楽交響曲作品を演奏してきた歴史の中で、バーンズ氏とは交響曲 第3番の世界初演、第117回定期演奏会の登壇など、Shionの演奏会史上大きな出来事として軌跡を残しました。そこで、バーンズ氏の交響曲を9曲全曲、自作自演で演奏しようという企画を氏に提示し、快諾を得てこの世界初の交響曲チクルスが今回の目玉企画として誕生しました。

当初の指揮は作曲家のジェイムズ・バーンズ氏が予定されておりましたが、体調不良により来日が困難となつてしまったため、バーンズ氏直々の推薦でチクルスをShionとともに披露するのはカンザス大学の教授であるポール・ポビエル氏です。ポビエル氏はカンザス大学でバーンズ氏と一緒に教鞭を取っており、今回のチクルス演奏にあたり、バーンズ氏と数多くのディスカッションを重ね、この大役を担うこととなりました。

[指揮]ポール・ポビエル
[吹奏楽]Osaka Shion Wind Orchestra

J.バーンズ：交響曲 第9番 op.160
J.バーンズ：交響曲 第3番 op.89

2023.10/8(日) 2:00PM
S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円(税込)

発売中

[お問い合わせ]Shionチケットセンター 0800-919-5508
[主催]公益社団法人 大阪市音楽団

は委嘱の中心人物かつ、初演を指揮したポビエル氏による演奏です。そして後半は交響曲 第3番です。第72回定期演奏会(1996年)の世界初演はバーンズ氏臨席のもと、大成功に終わり、大阪市音楽団の歴史の中でも燦然と輝く1ページを飾った演奏会となりました。その後、第100回の定期演奏会でも取り上げたメモリアルなこの交響曲は、今回のチクルスでもやはり、フィナーレに相応しいプログラムと言えるでしょう。

バーンズ氏の9曲の交響曲を4回に分けて毎週演奏する前人未至のプロジェクト、Shion100周年でしか聴けない「バーンズ・チクルス」をザ・シンフォニーホールでは是非お楽しみください。



ザ・シンフォニーホール
スーパーブラスがメディアに
取り上げられました！
動画はコチラ▶



指揮 喜多弘悦

**圧巻の映像美と迫力の
ブラッサウンドのコーポレーション**

『ザ・シンフォニーホールスーパーブラス』は、「オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ」と「ザ・シンフォニーホール」の共同企画により昨年7月に開始し、話題のプロジェクト「シオンマッピング」とともに五感を刺激するエンターテインメント・ショーとしてこれまでにないザ・シンフォニーホールの新時代のコンサートスタイルを築いています。1年目にして『ザ・シンフォニーホールスーパーブラス』は主催公演だけでなく、企業団体の主催公演にも招かれ、今最も注目を集めているウィンド・オーケストラのついに急成長しました。

〜夏休み・ディズニー名曲集〜として、みんな大好きなディズニー音楽の数々をお楽しみ頂きます。ディズニー音楽の中でも、スーパーブラスの魅力を存分に発揮できる作品を集めました。まるでテーマパークにいるかのような煌びやかな映像と音楽の融合にワクワクすること間違いなし！

そして、12月30日(土)は「年末スペシャルコンサート」として昨年大好評頂きました、池末 信率いるTHE SOULMATICOSの《ゴスペル音楽》をお届けします。スーパーブラスの迫力満点のサウンドと、ゴスペルのパワー溢れる歌声のハーモニーは、まさに心揺さぶる感動のステージとなることでしょう。池末氏に昨年のコラボの感想をお聞きしました。



THE SOULMATICOS ディレクター 池末 信

「昨年、初めてプロジェクト「シオンマッピング」を観てびっくりしました。ザ・シンフォニーホールに響き渡る僕たちの歌声とスーパーブラスの迫力のサウンドとのコラボレーションは、とても気持ちの良い体験でした。今年も益々パワーアップした興奮のステージをお届けしたいと思います。どうぞご期待下さい！」

「コンサートが初めて！」という方にもとつきやすい、この『ザ・シンフォニーホールスーパーブラス』は、「4歳以上入場可」《指揮者・喜多弘悦の軽快なお話付き》《壮大なプロジェクト「シオンマッピング」》そして会場全体を包み込む「迫力満点のサウンド」が最大の魅力となっています。

まだ観たことのない方も、是非ともこの未知の世界を味わいに来て下さい。「めっちゃ楽しい」「ワクワクのひとときをお届けします。ザ・シンフォニーホール一押しのスーパーブラスの「年末スペシャルコンサート」、さあ、12月30日はどうぞ大切な人と一緒に、ザ・シンフォニーホールでお過ごし下さい。

[指揮]喜多弘悦
[演奏]The Symphony Hall Super Brass
[ゴスペル]池末 信×THE SOULMATICOS

ハレルヤ／聖者の行進／You can't stop the beat／Joyfull Joyfull ほか

2023.12/30(土) 3:00PM
一般 6,600円 高校生以下(4~18歳) 3,300円(税込)
※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクト「シオンマッピング」付き
[お問い合わせ]大阪アーティスト協会 050-5510-9645
[主催]ザ・シンフォニーホール
先行予約：7/20(木) 一般発売：7/23(日)

バッハの神髄に迫る圧巻のソロ! 小編成アンサンブルと織りなす「冬」の響き!
フルオーケストラと奏でる情熱の響き!

前橋汀子

ヴァイオリン・スペシャル・コンサート



© 篠山紀信

名手・前橋がオーケストラとともに登場する画期的なリサイタル

今年4月に開催された日本フィルによる第246回芸劇シリーズは、感動的なコンサートだった。ヴァイオリン奏者の前橋汀子が無伴奏、オーケストラをバックに珠玉の小品、そしてメンデルスゾーンの名作交響曲を弾くまでに独壇場の舞台。最初から最後まで前橋の研ぎ澄まされた至芸を堪能し、音楽の喜びに満たされた一夜であった。

デビューから50年以上にわたり、ヴァイオリン界を牽引してきた前橋は、戦後まもなく旧ソ連に留学して名匠ミハイル・ヴァイマンに学び、今とは比べものにならない厳しい環境のもと、ひたすら自らの高い理想に向けて研鑽を積んだ。ロン・ティボーをはじめ、国際コンクールで輝かしい成績を収めた最初の世代で、まさに彼女のような先人の存在こそ、現在のヴァイオリン界の状況を支えているといっても過言ではない。高度な技巧をもち、美しくスマートに弾く若手の多いなかでも、



ヴァイオリン 前橋汀子

© 篠山紀信

春の旭日小綬章をはじめ数々の輝かしい勲章に値する前橋だからこそ、の崇高かつ研ぎ澄まされた「歌」は多くのファンを惹きつけてきた。

欧米ではもちろん、国内でもあらゆるホールで演奏してきた前橋だが、2024年1月14日、ザ・シンフォニーホールで待望のリサイタルを開催する。指揮はアルメニア生まれで、2019年に前橋との共演が好評を博したヴァン・マルディロシアン、オーケストラは日本センチュリー交響楽団。プログラムはヴァイオリン名曲をそろえているが、オーケストラつきリサイタルは実に画期的で、前橋だからこそその企画である。最初の曲は、バッハを得意としてきた彼女ならではの《無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番》より《シャコンヌ》。そしてヴァイオリンという楽器の洗練された美しさを存分に楽しめる曲が並ぶ。誰もが一度は聞いたことのあるヴィヴァルディの《四季》より《冬》、サン・サーンスの《序奏とロンド・カプリチオーソ》、ベートーヴェンの《ロ



指揮&チェンバロ ヴァン・マルディロシアン

© JL-Bongrand

[ヴァイオリン] 前橋汀子 [指揮&チェンバロ] ヴァン・マルディロシアン
[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 BWV1004より《シャコンヌ》/ ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集《四季》より《冬》op.8-4 / ベートーヴェン: ロマンズ 第2番 ヘ長調 op.50 / サン＝サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 op.28 / メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64 / サラサーテ: ツイゴイネルワイゼン op.20

2024.1/14 (日) 2:00PM

S 7,700円 A 6,600円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 7/20 (木) 一般発売: 7/23 (日)

マンズ》は技巧の華やかさも備えた名作だ。そしてメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲はあの哀愁に満ちた冒頭部からぐっと聞き手の心をつかむ傑作で、前橋ならではの艶やかなソロに期待が高まる。

ここ数年、音楽界で続いた困難な時期を経て、多く聴衆は、ホールで音楽家の生演奏を聞き、その場の空気をわがちあうのが、かけがえのない体験であることを実感した。現代は、音楽を配信で実に手軽に聞ける時代である。だがそれでもなお、私たちはやはりホールに行かずにはいられない。そう、前橋汀子のような心をゆさぶる演奏家の音楽を聞くために。

(文 伊藤制子)



仲道郁代

ショパンを弾く ～円熟と哀しみ～

ショパンの芸術性をあまねく表現

いまや日本のピアノ界を代表する存在として活躍する仲道郁代。近年はピアノ独奏へのアプローチや楽曲の内奥に分け入ろうとするあくなき欲求。音楽学者との対談や後輩のマスタークラスも行うなどますます活動のフィールドを広げ、アーティストとしての信頼度を高めている。無垢で愛らしい人柄と、厳しい芸術性の追求の両方が彼女の魅力だが、ファンは彼女の演奏を聴き続けることで、芸術とは何か、ピアノを弾くことの真実とは何か、を演奏者と共に追い求めることになる。素敵なことだ。

さて、仲道郁代が2021年よりザ・シンフォニーホールで続けているリサイタル・シリーズの第3回目となる今回は「ショパンを弾く～円熟と哀しみ～」と題して、フレデリック・ショパン（1810～1849）全盛期の名曲と晩年の深淵な傑作にフォーカスする（仲道は昨年の第2回もショパンを扱ったのでいわば続編）。

「英雄」ポロネーズ、小犬のワルツ、バラード 第3番などは、バリ時代、そして作家ジョルジュ・サンドと同棲していたマジョルカ島を離れ、フランス郊外のノアンの館（ジョルジュ・サンドの別荘）に移ってから書かれた。愛するサンドとの生活が実際のところ創作にどれほど影響している

か実証するのは難しいところだが、各楽曲はどれもすこぶる意欲的な内容で、バラードなど、ショパンとしては珍しく表題音楽への傾きを見せているのも特徴的だ（ショパンはロマン派に属するが同時代のシューマンやリスト、ベルリオーズと違い、基本的に音楽に文芸的要素を取り入れることはなかった）。ひとことでこれらの作風を形容できないが、如果说例えばパワフルで肯定的、輝かしさ（もちろんこれと対照的な部分はある）が押し込められ、ピアノスティックな快感とともに高揚感をもたらす作品が多い。

一方、「幻想ポロネーズ」や短調のマズルカなどは、ショパンにとって晩年の作品として知られる。とくに「幻想ポロネーズ」は、ポーランドの民族的舞曲とはおよそ異なる、まさに幻想的でときにベシミズムさえ漂わせる深淵な作品。孤独感と束の間にみせる安らぎを表出するのはピアノリストにとつて至難の技だ。このショパンの最高傑作は、ピアノ芸術に真摯に取り組んできた仲道郁代にこそふさわしい作品と思われる。

名曲とは、つねに聴くもの一人ひとりに語りかけ、新しい発見をもたらしてくれる。「知・情・意」を備えた仲道郁代の、そしてショパンの芸術を存分に満喫したい。

（文 城間 勉）

[ピアノ] 仲道郁代

《オール・ショパン・プログラム》

ポロネーズ 第6番 変イ長調「英雄」 op.53 / ワルツ 第6番 変二長調「小犬」 op.64-1
バラード 第3番 変イ長調 op.47 / バラード 第4番 短調 op.52 / マズルカ op.59より
マズルカ op.68-4 短調（遺作） / ポロネーズ 第7番「幻想」変イ長調 op.61 ほか

2024. 1/21 (日) 2:00PM

全席指定 4,500円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

先行予約：7/20 (木) 一般発売：7/23 (日)

Message

「自分が死んだら、身体から心臓を取り出して、

ポーランドの土に埋めてほしい」

そう言い遺して亡くなったショパン。まだ若き39歳でした。

二十歳の時に故郷を離れ、二度と戻ることができなかったショパン。

遥かなる故郷、人々への郷愁と、

戻らなかった、戻らなかった自身への忸怩たる気持ちの交錯。

彼の晩年の想いを弾いていきたいと思います。

仲道郁代

華麗なるガラ・コンサート

クラシック音楽が世界をつなぐ～輝く未来に向けて～

次世代の巨匠たち、名曲の饗宴



飯森範親
(指揮)



松田華音
(ピアノ)



南 紫音
(ヴァイオリン)



富田一樹
(オルガン)

大栗 裕：
大阪俗謡による幻想曲

グリーグ：
ピアノ協奏曲 イ短調 作品16
(ピアノ：松田華音)

メンデルスゾーン：
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
(ヴァイオリン：南 紫音)

サン＝サーンス：
交響曲 第3番 ハ短調 作品78
「オルガン付き」
(オルガン：富田一樹)



スーパー・クラシック・オーケストラ
(管弦楽)

堀江政生(司会)

2023 10.9 [月・祝] 15:00 開演 (14:00 開場) ザ・シンフォニーホール

S席 6,000円 A席 4,500円 B席 3,000円(全席指定/税込)

〈ご予約・お問合せ〉 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) <https://www.symphonihall.jp>

主催：一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 / ジャパン・アーツ 協力：ザ・シンフォニーホール

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金
(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会

公演WEBサイトは
こちら▶▶▶



<https://www.classic-caravan.com>

＜次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。＞ ①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意下さい。④演奏中に入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

チケット
プレイガイド

- ◆ チケットぴあ
<https://w.pia.jp/t/symphonihall/> [Pコード:241-874]
- ◆ e+(イープラス)
<https://eplus.jp/symphonihall> (パソコン・携帯)
- ◆ ローソンチケット
<https://l-tike.com/symphonihall> [Lコード:54702]





華麗なるビッグバンドが本田雅人と共に贈る究極のダンディズム

2016年に産声を上げ、12月4日に21回目の公演を行うThe Symphony Hall Big Band (以下TSHBB)。クラシックのホールで繰り広げられる本格的なビッグバンド演奏の魅力や今回の聴きどころを、TSHBBのリーダーを務めるトランペット奏者の菊池寿人に訊いた。

TSHBBのメンバーは16名。いずれもソロやバンドで活躍する名手だが、どのように人選したのだろうか。

「意識したのは、各奏者の持ち味と組み合わせ。ビッグバンドのレパートリーは広く、色々なことを柔軟にできる奏者が適していると思います。だから、ジャズだけでなく、多彩なジャンルで活躍する方々に声をかけました。」

公演タイトルを「ダンディズム」と題して行う今回、ゲストにはサクスの大御所・本田雅人を迎える。彼は国立音楽大学在学中から本格的なプロ活動を開始し、1983年からは原信夫とシャープス・アンド・フラッツのリードアルトを担当。その後、90



ミュージックディレクター 菊池寿人



年代にはT SQUAREのメンバーとして卓越した技術を披露し、「ハイパーサクスプレイヤー」と讃えられた。また、97年にT SQUARE 退団後は自身のビッグ・バンドB.B. STATIONを経て、以後はソロで活動するなど、その活躍は多岐に渡ることは周知の通りだ。

「我々もメンバーの多くが50代前後になつてきたので、おじさんたちも頑張つていこうと思ひまして(笑)。そこで、ジャズ界におけるダンディの代表格と言えば、やはり本田さんだなということになりました。TSHBBへのゲスト出演は5年前が最初で、今回が二度目となります。予定演目は、T SQUARE時代の名曲としておなじみの『TRUTH』と『宝島』、そして先年亡くなったジャズ・ビ

アノの巨匠チック・コリアの代名詞だった『スペイン』などです。」

いずれも楽しみだが、中でも、『宝島』は吹奏楽にもアレンジされた大人気曲。爽やかな原曲と、重厚な吹奏楽版に比べ、今回のビッグ・バンド版がどんな演奏になるかに注目だ。

最後にザ・シンフォニーホールでTSHBBが演奏する醍醐味を尋ねると、次のように語ってくれた。

「素晴らしい音響には毎回本当に助けられています。多彩でゴージャスなのに、一音が透き通って響きますから。そのおかげで演奏のクオリティは格段に上がりますし、バラードのようにゆったりとしたナンバーは実に静謐でお洒落な演奏に仕上がるのが魅力だと思います。」

(取材文 渡辺謙太郎)

[演奏]The Symphony Hall Big Band
[スペシャル ゲスト]本田雅人 (サクス)

和泉宏隆: 宝島〜オーメンズ・オブ・ラヴ メドレー〜
安藤まさひろ: TRUTH/チック・コリア: スペイン
本田雅人: Theme For B.B.S. ほか

2023.12/4 (月) 7:00PM

一般 7,500円 小学生以上18歳以下 3,300円 (税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約: 7/20 (木) 一般発売: 7/23 (日)

美しき日本のうた 2023

未来へと紡ぐ、歌い継ぎたい日本のうた

ソプラノ 幸田浩子



才色兼備ソプラノが慈愛に満ちた歌い口で贈る日本人の心の原風景

まさに《中秋の名月》の9月29日にぴったりのロマンティックなひととき。ザ・シンフォニーホールで2020年から毎年開催される才色兼備ソプラノ、幸田浩子の人気シリーズ「美しき日本のうた」の第4弾！今回は「未来へと紡ぐ、歌い継ぎたい日本のうた」をテーマに、四季折々の自然を情緒豊かに描いた日本歌曲を多数披露。「夏の思い出」で盛夏を振り返ったり、「ちいさい秋みつけた」で秋の郷愁に浸ったりしながら、「庭の千草」では冬の気配をそこはかとなく醸成。そして季節は巡り、日本ならではの可憐で儚い春を描いた「さくらさくら」や「さくら横ちょう」などが、幸田持ち前の豊かな美声で歌われてゆくという流れだ。彼女は過去に、「日本のうた」という録音を2枚発表し、西洋歌曲の時とはまた違う、慈愛に満ちた歌い口が高い評価を得た。時は移ろいでも、変わることはない日本の美しい風景と、そこに暮らす人々の思いやり。幸田が過去に録音などでも度々共演している名ピアニスト、藤満健と共に贈る今回の公演は、そんな日本の魅力を大きな優しさで伝えてくれることだろう。

(文 渡辺謙太郎)

[ソプラノ] 幸田浩子 [ピアノ・編曲] 藤満健

ちいさい秋みつけた／さくらさくら／さくら横ちょう／林檎の花が降り注ぐ
紫陽花／夏の思い出／からたちの花／北秋の／美しき日本のうた2023
荒城の月／庭の千草／あしたのうた

2023.9/29 (金) 3:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

古澤 巖 × ベルリン・フィルハーモニック ストリングス～愛のクリスマス2023～

ヴァイオリン 古澤 巖



古澤巖とベルリン・フィルの仲間たちによる魅惑の弦楽アンサンブル！

古澤 巖とベルリン・フィルの仲間たちとの共演は、10年にわたってザ・シンフォニーホールで愛されているコンサートの一つで、今年も12月に「愛のクリスマス」と題して開催される。彼らはこれまでに「コンチェルト・海」や「炎のヴァイオリン」などのアルバムもリリース。古澤はベルリン・フィルのメンバーとの共演のなかで、作曲家ロベルト・ディ・マリノーと知り合い、彼の作品を演奏するようになった。マリノーの7つのヴァイオリン協奏曲はすべて古澤とベルリン・フィルの仲間たちによって録音されている。マリノーの協奏曲は、イタリアの作曲家らしい、弦楽器の魅力を引き出す、歌に満ちた親しみやすい作品。今回はコンチェルト 第8番が披露される。また、サラサーテの「ツイゴイネルワイゼン」も演奏され、現存するストラディヴァリウスの銘器のなかでも特に価値が高いとされる古澤の1718年製「サン・ロレンツォ・Ex ヴィオッティ」の音色が満喫できるであろう。

「ベルリン・フィルハーモニック・ストリングス」はヴァイオリン2人、ヴィオラ1人、チェロ1人、コントラバス1人で構成され、古澤 巖と極上のアンサンブルを聴かせてくれるに違いない。

(文 山田治生)

[ヴァイオリン] 古澤 巖

[弦楽アンサンブル] ベルリン・フィルハーモニック ストリングス

サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン／ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集《四季》より「冬」
ロベルト・ディ・マリノー: コンチェルト 第8番／ドビュッシー: 小組曲

2023.12/12 (火) 6:30PM

S 8,000円 A 6,500円 U25 2,500円(税込)

[お問い合わせ] キョードーインフォメーション 0570-200-888

[主催] NHKエンタープライズ／ザ・シンフォニーホール／ジェイツー

先行予約: 7/20(木) 一般発売: 9/9(土)

ライト・シンフォニックコンサート 大人の贅沢



ゲスト 布施明

トランペット エリック・ミヤシロ

超豪華共演!
エリック・ミヤシロ&布施明を迎えて

ザ・シンフォニーホールと大阪交響楽団がタッグを組み、9回目を迎える人気シリーズ「ライト・シンフォニックコンサート」。今回は日本のジャズ界を牽引する世界的トランペッター、エリック・ミヤシロと、圧倒的な歌唱力でファンを魅了し続ける布施明の超豪華ダブルゲストでお送りします。

大阪交響楽団はピアノ、ベース、ドラム、ギターの「フォー・リズム」と呼ばれるリズム隊を加えた「大阪響ポップスオーケストラ」として登場。ゴージャスな響きにグルーヴ感が加わった新たなサウンドでお届けします。

第1部《エリック・ミヤシロ×大阪響ポップスオーケストラ》では、ポップスオーケストラならではののりのいい楽曲や、エリック・ミヤシロのトランペットの音色を存分に楽しんでいただける名曲を、そしてお楽しみ《平成の大ヒットメドレー》もご期待下さい。

第2部《布施明を迎えて》では、第17回日本レコード大賞など数々の賞を総なめにした名曲「シクラメンのかほり」をはじめ、ヒット曲の数々をお届けします!

豪華2本立てでを送りする必聴の「ライト・シンフォニックコンサート」、まさに大人の贅沢!です。楽しんでいただけること間違いなし!

[指揮]藤野浩一 [ゲスト]布施明、エリック・ミヤシロ★
[管弦楽]大阪響ポップスオーケストラ

《布施明を迎えて》マイ・ウェイ/シクラメンのかほり ほか

《エリック・ミヤシロ×大阪響ポップスオーケストラ!》ゴッド・プレス・アメリカ/ストリングス・オブ・ファイア/ザ・モア・アイ・シー・ユー★/トランペッツ・アンド・クラムベッツ★ ほか

2023.8/26(土) 2:00PM

SS 10,000円[売切] S 8,000円 A 6,000円(税込)

[お問い合わせ]大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団/ザ・シンフォニーホール

発売中

オルガン 富田一樹

オールバッハ名曲選!

真夏のオルガン コンサート2023

バイブオルガン入門にも最適、涼しいホールでバッハがもたらす安らぎと至福の60分

近年、日本各地のホールでバイブオルガンの多様なコンサートが開催され人気を博しています。これはクラシック音楽のビギナーファンの間でオルガンという楽器への関心が高まっている証です。天から降り注ぐ壮麗なサウンドを一度でも体験された人にとつてオルガン演奏を聴く喜びは忘れがたく格別のものでしょう。オルガンは本来キリスト教に由来する楽器ですが、いまでは音楽ファンすべての人に開かれたソロ楽器なのです。ザ・シンフォニーホールが企画する「真夏のオルガンコンサート」はリーズナブルな料金設定と約60分というほどよいサイズ、これからオルガンを聴いてみよう、バッハの音楽に触れてみたいと感じている方に最適の企画です。演奏するのは大阪出身で世界的に活躍する富田一樹、多くのコンクールに入賞を果たしているバッハの若きスペシャリストです。

幻想曲とフーガハ短調 BWV537、カンタータ「主よ、人の望みの喜びよ」、ピエスドルグト長調 BWV572 など名作ばかりを揃えた選曲もうれしいところ。8月の残暑厳しい中、涼しいホール内で音楽を味わってみてはいかがでしょう。コンサートホールは最高の「ヒーリングゾーン」なのです。ぜひご来場を。

(文 城間勉)

[オルガン]富田一樹

《オール・バッハ・プログラム》

幻想曲とフーガ ハ短調 BWV537/われいずこに逃れゆくべきか BWV694
おお汚れなき神の子羊 BWV656/ピエスドルグト長調 BWV572/アヴェ・マリア/C.グノー(オルガン版)/主よ、人の望みの喜びよ BWV147-10(オルガン版)
前奏曲とフーガ ホ短調 BWV548「模」

2023.8/27(日) 2:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

江陵市交響楽団

Gangneung Philharmonic Orchestra Japan Tour 2023

2023年 日本公演

指揮 チョン・ミン

この名曲プログラムはなかなか聴けない！
江陵市交響楽団、初来日！

2018年の平昌冬季オリンピック大会でフィギュアスケートなどの室内競技が行われた場所でもある江陵（カンヌン）で、1992年に公立オーケストラ「江陵市交響楽団」が創設された。指揮者には世界的マエストロであるチョン・ミョンフンの息子チョン・ミンが2022年第6代音楽監督に就任。チョン・ミンは既に東京フィルのアソシエイト・コンダクターで、2度の大阪公演でお馴染みのイタリア交響楽団の首席客演指揮者のタイトルを持つ若手の注目株。

今回の初来日には、ソリストに同じ江原道（カンウオンド）エリア、春川（チュンチョン）出身のピアニスト兼オルガニストのチョ・ジェヒョクが帯同。彼は長くアメリカ（ジュリアード音楽院卒）で活動し、チョンの音楽監督就任の演奏会でもソリストを務めた。今回はザ・シンフォニーホールに利用するサン・サンスの「オルガン交響曲」、そして叙情性と情熱を併せ持ち管弦楽との絡みが絶妙な傑作「ピアノ協奏曲 第2番」を一夜にして聴かせる。

近い将来、アジアを代表するオーケストラになり得る上昇気流に乗った江陵市交響楽団の熱気を実際に肌で感じて欲しい。

[指揮] **チョン・ミン** [ピアノ・オルガン] **チョ・ジェヒョク**
[管弦楽] **江陵市交響楽団**

ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲

サン＝サーンス：ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.22

サン＝サーンス：交響曲 第3番 ハ短調 op.78「オルガンつき」

2023.9/6 (水) 7:00PM

全席指定 S 6,000円 A 4,000円 B 2,000円(税込)

[お問い合わせ] 日本アーティスト チケットセンター 03-5305-4545

[主催] 日本アーティスト／ザ・シンフォニーホール

発売中

A y a k o U e h a r a R a c h m a n i n o v

《オール・ラフマニノフ・プログラム》

上原彩子

ピアノ・リサイタル

©Akira Muto

上原彩子、ラフマニノフの精髓を表わす2曲のピアノ・ソナタに挑む

ピアニストの上原彩子は、ザ・シンフォニーホールではお馴染みのピアニスト。今年11月にリサイタルを開催し、ラフマニノフ生誕150年を記念して、すべてラフマニノフ作品によるプログラムに挑む。

上原が初めてラフマニノフを弾いたのは12歳。ロシアの音楽に若いころから親しんできた。上原は、卓越した演奏技巧を通して、湧き上がるような熱いパッションをみなぎらせ、メロディをたつぷりと歌い上げていく。このリサイタルでは、ラフマニノフの精髓を表わしている2曲のピアノ・ソナタを軸に、モスクワ音楽院を卒業した年に書かれた《幻想小曲集》と、ショパンを模範として創作した《前奏曲集》作品32からの抜粋を披露する。

ラフマニノフの音楽について、上原は「根を深く広く張っていくような大地の広さをたつぷりと感じる」と語り。彼自身がヴィルトウオーソ・ピアニストであったように、作品には絢爛豪華なテクニクが駆使されている。雄大なスケールとともに、深い詩情にあふれるリリズムを湛えたラフマニノフの世界を、きめ細やかな表現で知られる上原がどのように描き出すのか、実に楽しみである。

(文 道下京子)

[ピアノ] 上原彩子

《オール・ラフマニノフ・プログラム》

幻想的小品集・エレジー 変ホ短調 op.3-1、前奏曲「鐘」嬰ハ短調 op.3-2、メロディ ホ長調 op.3-3、道化師 嬰ハ短調 op.3-4、セレナード 変ロ短調 op.3-5 / ピアノ・ソナタ 第1番 ニ短調 op.28 / 前奏曲集：変ロ短調 op.32-2、ハ短調 op.32-6、ハ長調 op.32-7、イ短調 op.32-8、イ長調 op.32-9、ロ短調 op.32-10 / ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調 op.36

2023.11/23 (木・祝) 2:00PM

全席指定 5,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

TheSymphonyHall × 関西4オケ *Pick Up* コンサート

大阪フィルハーモニー交響楽団 ザ・シンフォニーホール特別演奏会 メンデルスゾーン・チクルス～メンデルスゾーンへの旅～Ⅱ



管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団



指揮 尾高忠明



ヴァイオリン 務川慧悟

[指揮]尾高忠明 [ヴァイオリン]務川慧悟
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

《オール・メンデルスゾーン・プログラム》

交響曲 第5番 二長調 op.107 「宗教改革」
ピアノ協奏曲 ト短調 op.25 / 交響曲 第4番 イ長調 op.90 「イタリア」

2023.8/25 (金) 7:00PM

A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円

[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催] (社) 大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール

[特別協賛]パナソニック株式会社

発売中

シリーズ第2回は1830～31年、同時期に書かれた3曲を取り上げます。今回の注目は「ピアノ協奏曲」。ヴァイオリン協奏曲と較べると圧倒的に演奏機会が少ないピアノ協奏曲。でも初演時に大成功を収めたのはピアノの方でした。曲の長さが約20分と中途半端でプログラミングしづらいのが原因かな。でもピアノという楽器を本当によく知っている人が書いたのが分かる、とても魅力的な作品です。と尾高は語ります。務川慧悟さんの独奏で、そのピュアな魅力をお届けいたします。

大阪交響楽団 第128回 名曲コンサート「菊池洋子の“ベートーヴェン協奏曲チクルス”Vol.1」



管弦楽 大阪交響楽団



指揮 山下一史



ピアノ 菊池洋子

[指揮]山下一史 (常任指揮者) [ピアノ]菊池洋子
[管弦楽]大阪交響楽団

ベートーヴェン: 「プロメテウスの創造物」 op.43 序曲
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58

2023.9/9 (土) [昼の部] 1:30PM [夜の部] 5:00PM

S 3,500円 A 3,000円

[お問い合わせ]大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団

[特別協賛]大和ハウス工業株式会社 [後援]堺市

発売中

大阪交響楽団と幾多の共演を重ねてきた国際的ピアニストの菊池洋子が、ベートーヴェン協奏曲チクルスに満を持して臨みます。菊池と言えば、日本人初のモーツァルト国際コンクールの覇者(2002年)にして、稀代のモーツァルト弾きとして世評高きピアニスト。その並々ならぬ集中力から生まれる確固たる造形や透徹した音色は、ベートーヴェンの世界を一層輝かせてくれることでしょう。常任指揮者の山下一史による練達の指揮のもと、劇的な情感に満ちたピアノ協奏曲 第3番と柔和かつ優美なピアノ協奏曲 第4番がチクルス第1弾を華々しく飾ります。

日本センチュリー交響楽団 第275回定期演奏会



©Makoto Kamiya



ピアノ 高橋優介



指揮 飯森範親

[指揮]飯森範親 [ヴァイオリン]神尾真由子 [ピアノ]高橋優介
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

カンチエリ: タンゴの代わりに／ヴィトマン: ヴァイオリン協奏曲 第1番
カンチエリ: 弦楽オーケストラ、ピアノとパーカッションのための「SIO」
シベリウス: 交響曲 第7番 ハ長調 op.105

2023.9/22 (金) 7:00PM

A 6,500円 B 5,000円 C 3,500円 D 1,500円 [売切]

[お問い合わせ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

発売中



©Masaharu Eguchi

管弦楽 日本センチュリー交響楽団

飯森マエストロ渾身の現代プログラム。ヴィトマンのヴァイオリン協奏曲は、今年3月にマエストロ飯森と神尾真由子により東京で初演されました。この9月、再びその2人がセンチュリーとともに難曲に挑みます。豊中市出身で日本を代表するヴァイオリニスト、神尾真由子によるパッション溢れる演奏にご期待ください。カンチエリでは、気鋭ピアニストの高橋優介を迎え、新しくもどこか懐かしい音楽を感じていただけることでしょう。そして自然をこよなく愛したシベリウス生涯最後の美しい交響曲で幕を閉じます。

関西フィルハーモニー管弦楽団 第340回定期演奏会『シン・新世界…俊オヘルツォークが描く名曲の裏側』



管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団



指揮 マテュー・ヘルツォーク

[指揮]マテュー・ヘルツォーク [ヴァイオリン]オーギュスタン・デュメイ
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

モーツァルト: 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 K.527
モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216
ドヴォルザーク: 交響曲 第9番 ホ短調 op.95 「新世界より」

2023.9/13 (水) 7:00PM

S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円 学生席(25歳以下) 1,000円

※学生席は関西フィル事務局のみ取扱い

[お問い合わせ]関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911

[主催]公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

発売中

2022年9月の関西フィル第331回定期に於けるシマノフスキ「交響曲 第2番」で鮮烈な指揮を披露したマテュー・ヘルツォーク。2度目の登壇となる今回は、名曲中の名曲《新世界より》を披露する。果たして、そこにはどんなドラマが待ち受けているのだろうか。また、住友生命いずみホールで展開中のシリーズとも連関を成すオーギュスタン・デュメイのモーツァルトにも期待大。今宵は、名曲の名曲たる所以を改めて認識して頂くアカデミックな一夜となることだろう。